

協議会運営に関する委員アンケート結果及び今後の改善案 概要

1 委員アンケートのご意見（令和8年1月～2月実施）

○約9割の方から、会議の進行と部会の役割に疑問を持つご意見が寄せられた。

○約4割の方から、部会のかけもち（兼務）の負担や会議の形骸化を懸念するご意見があった。

(1) 全体会の役割と課題

① 現状の評価

事務局からの報告や追認（容認）が中心となっており、実質的な議論や意思決定が行われていない「発表会」のような印象を持たれています。

② 求められる役割

- ・ 地域全体の論点や課題を整理し、大きな方向性を決める場。
- ・ 各部会へ具体的なミッションを振り分ける（司令塔的な）機能。
- ・ 専門的な議論に偏らず、当事者委員も参加しやすい「身近な困りごと」を共有する場。

③改善点

専門性の高い議題（事業者評価など）を切り離し、全体会では、当事者委員の声を踏まえた、より普遍的な地域課題を扱うべきという指摘があります。

(2)部会の役割と課題

①現状の評価

- ・少人数で話ができる場として評価されています。
- ・一方で、部会によっては扱う幅が広すぎて議論が絞りづらいという意見もあります。

②求められる役割

- ・全体会で整理された課題を持ち帰り、専門的・具体的に深掘りして検討する場。
- ・特定のテーマ（例：拠点検討など）に応じて、時限的なワーキンググループやチームとして機動的に動く機能。

③改善点

委員の負担軽減（掛け持ちの解消）や、部会での議論を全体会の報告書にまとめる際の事務局サポート（職員メモの活用など）が求められています。

※そのほか、席間の工夫、窓口対応などに関するご意見があった。

2 第6回運営会議のご意見（令和8年2月24日開催）

(1) PDCA サイクルの確立

全体会で決定した課題に対し、各部会が具体的な取り組みを推進するという、**明確なプロセス**を構築すべきである。

(2) 部会の活動範囲の明確化

国の資料では「全体会の決定事項に注力する」ようにも読み取れるが、**部会の役割や裁量をどこまで認めるか整理が必要**である。

(3) 双方向性の確保

全体会からの「トップダウン（指示）」だけでなく、**現場に近い部会からの「ボトムアップ（提案）」**も取り入れた、**柔軟な連携体制が望ましい**。

そのほか、協議事項と報告事項の整理、ファシリテーション（会議進行・意見のもらい方）※

の工夫、席図の見直しなどに対する意見があった。

※意見のもらい方：当事者からは、「経験」を、支援者からは「現場感覚」の視点から発言していただくなど。

協議事項は意見を広げるのか、意見を深堀するのかを整理すべき。

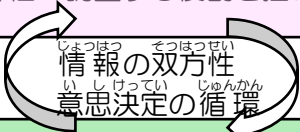
じりつしえんきょうぎかい ぜんたいかい ぶかい やくわりぶんたん そしきたいせい みなお
自立支援協議会 全体会と部会の役割分担（組織体制の見直し）のイメージ

1 全体会：多角的な協議の場

- 課題や各部会の活動状況を共有した上で、「当事者・支援者・行政など多角的な視点での協議」を行います。
- 部分最適ではなく、地域全体の施策として評価・調整する役割を担います

ちいきのみらい
 地域の未来へつなぐ
 かんせいとう
「管制塔」

ボトムアップ



トップダウン

げんばのこえをせいさくに
 現場の声を政策に
 変える**「エンジン」**

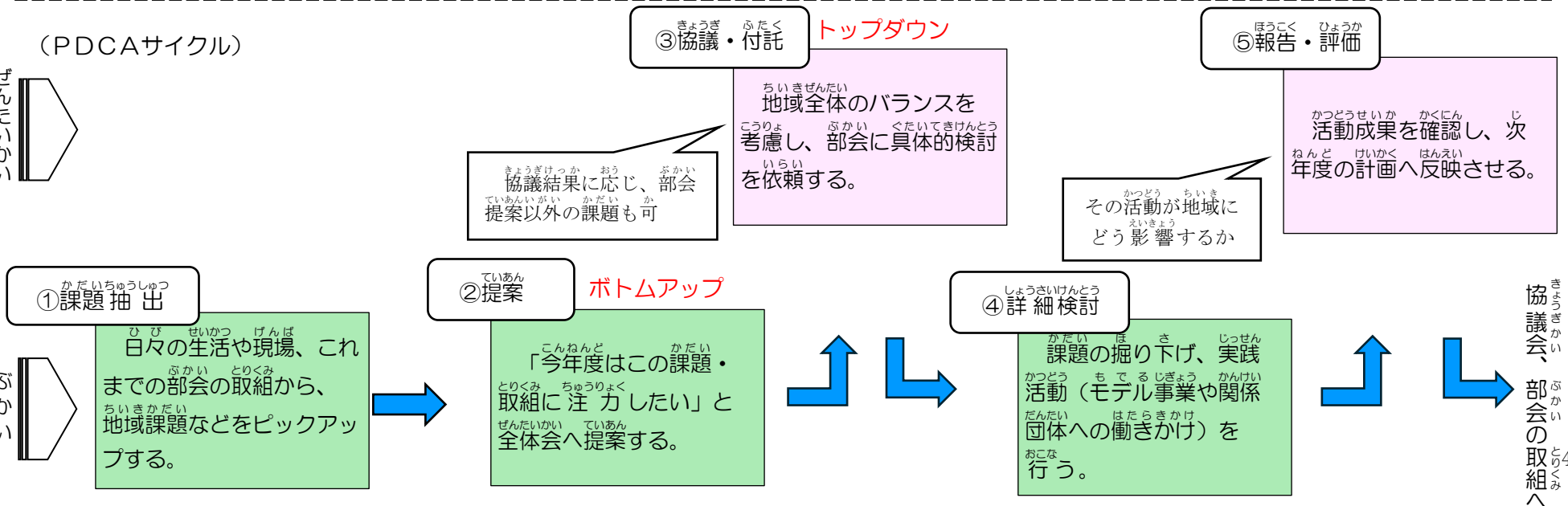
2 部会：具体的活動の場

- 当事者の日々の生活や現場の日々の業務の中から、直面する「制度の隙間」や「地域の不足」を、集約します。
- 全体会での協議を経て、個別の課題に対する「具体的な作業・詳細な検討・実践活動」を担います。
- 専門的な知見や当事者等の意見を集約し、「たたき台」を作成します。

(PDCAサイクル)

全体会

部会



協議会、部会の取組へ

○上記「全体会と部会の役割分担」のほか、以下の改善策に取り組むこととしたい。

その他 組織体制の見直し

(1) 「1人1部会」制の原則化等

兼務を解消し、各委員が責任を持って一つの部会（具体的検討）に集中できる環境を整えます。

(2) 時限的な検討組織（ワーキンググループ）の設置検討

「地域生活支援拠点等」の重要課題については、集中的に検討する組織を設置します。

役割分担の明確化と実効性の向上

会議運営の改善

(1) 「活動報告枠」の新設

当事者委員等が持ち回りで現状や展望を報告し、全体会での議論の出発点とします。

(2) 専門案件（評価業務等）の検討手法の効率化

事業者評価などの実務的な議題は、人数を限定した会議で集中的に審議・集約を行い、その結果を全体会で報告・共有する運用に改めることで、全体会では委員同士の「対話」や「重要課題の協議」に十分な時間を確保します。

（そのほか）

- ファシリテーションは継続検討（令和8年度第1回目途）
- 席図の見直しはR7年度第4回協議会から試行、継続検討
- 委員への議事録の個別送付（従来は市HP掲載）

当事者視点の確保

かいぜん む ちよきん あん
改善などに向けた直近スケジュール (案)

